

校長室だより



令和6年10月9日
大阪市立堀江小学校
校長 高橋 純一

今年も記録的な暑さが続く、ほんとうに厳しい残暑でしたが、10月に入りやっと少しずつ秋の深まりを感じるようになりました。紅葉の時期にあわせて行楽シーズンが訪れています。各学年では、社会見学や遠足などの校外学習でかけています。6年生はいよいよ、楽しみにしていました修学旅行でかけました。それぞれの活動の場で、堀江小学校の一員としてのすばらしい姿を見せてほしいと思います。

『修学旅行』

10月2・3日に、6年生が1泊2日の修学旅行を行ってきました。本年度から、修学旅行の行き先を昨年度までの広島方面から、数年前までの行き先でもあります伊勢・鳥羽方面に変更しての実施です。行き先が変わり複雑な思いをもって参加した児童もいたことと思いますが、病院にからなければならない発熱や大きなけがなく無事に終えることができました。

出発式で代表の児童がみんなに呼びかけた、「これまでのがんばりをむだにしないためにも全員が自分の役割をしっかり果たし、全員が決められたルールを守り、全員が笑顔で今日からの2日間の修学旅行を過ごしましょう。それらのことができれば、『堀江小学校の6年生として笑顔で後悔のない思い出に残る修学旅行にしよう』という目標を必ず達成できると思います」という言葉通りのすばらしい宿泊行事になったと思います。

○スペイン村で



○宿舎



○鳥羽水族館

『行先の変更について』

本年度から、修学旅行の行き先を昨年度までの広島方面から、数年前までの行き先でもあります伊勢・鳥羽方面に変更させていただいきました。大きな理由としましては、2点ございます。本年度より、東学舎・西学舎に分かれての教育活動となっていますが、行事に関しましては合同で行い、交流を深めたいと考えています。残念ながら5年生の林間学習に関しましては宿舎のキャパシティーの関係上、分かれての活動となってしまいました。従来利用していた広島の宿舎に関しましても、キャパシティーが限界に近づいている状況です。そこで、今後も250名ほどの児童が同宿できる施設がある場所を選定しました。これが1点目の理由です。2点目は、交通機関の利用についてです。一昨年度より、新幹線を利用しての移動となりました。それまでの5時間のバス移動と比較しますと子どもたちの負担の軽減にはなったと思います。経費については、修学旅行集約列車を利用し何とか教育委員会事務局が設定している目安の経費を少し超える状態にとどめてきました。しかし、児童数の増加により本校の児童数では集約列車を予約することがかなり困難である、東学舎・西学舎に分けてのエントリーでも確約できないとの回答が旅行会社よりありました。そのため新幹線を利用する場合、一般予約となることから経費が大きく膨らむこととなります。さらに、早朝の通勤ラッシュを避けての集合にも限界があり、やはり満員電車に乗車しなければ移動できること、早い時間帯の学校出発のため新大阪駅で1時間ほどの待ち時間が生じることなどの課題もございました。このような状況から、6年生全員が宿泊できる施設と3時間半ほどのバス移動という行程に変更しました。子どもたちの安全を確保して引率するための苦渋の決断となりました。ご理解をいただけたらと思います。

1日目には、パルケエスパニャでの活動となりますので、3学期の卒業遠足には、従来のひらかたパークではなく、キッザニア甲子園での活動を予定していますので、あわせてお知りおきください。